間断なき爆撃に蔣介石軍の電によればわが海陸空軍の一環によればわが海陸空軍の

関防最高委員會會議におい ・一般を表現では前線への軍需輸 ・一般を表現では前線への軍需輸

取上げられたといはれる 政業方法が重要議題とし 改善方法が重要議題とし

午後四時發表

樹立

除報

三山は崇寺平三近陽平

在泰國の華僑

段降の機況左の機別を極めてる

に達した ・敵遺栗死體三百のないがあ、六兩日のない ・のないでは、 ・しないでは、 ・しないでは、

する百十八師およびこれ 三、信陽地區 わが高野、て抵抗する蕎東北軍に屬 加へて敵遺棄死二百十四 の銭果をあげた の銭果をあげた が答戦隊たる中央商系九

武漢周

邊地帶の掃蕩戰况

は連日寸断され

## 曇る政 へ高氣

**阿服**疗

發行 A3 ME 所 **第第3**图

図策體系を整備

英佛對土の

官民協力協議會開催

を撃滅

陸海軍根據地

敗敵殲滅

.

に猛追撃

等多数に上つてゐる
を対し、其他彈藥被服
を対し、其他彈藥被服
を対し、其他彈藥被服

前七時新京飛行場競日漸速日本側と打合せのため闘東

の日補通絡機で酵狂の確定であった吉野副總裁は十日補系總會出席のため東上中補系總會出席のため東上中

ホテル・ボテル(満炭重役)

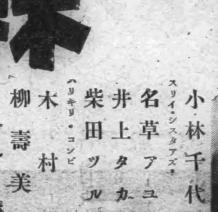
区) 八日來京富士屋

在大連市店長)大都 一大連市店長)大都 一大連市店長)大都 一大連市店長)大都

新政権を支援

回一第年七德康 演實華豪

ルードリオ





## しても政府の態度は明かとなるわけでありこの意味に於るこの會見は綴めて電腦され、一行ることとなつた。この會見に依り政局は尙數日間は停頓狀態をついけるか或は又急一樣都されるに至つた。その際首相は陸相の進言に對し明確な意思表示をしてゐないが、頻隆相は八日の胸議顧阿部首相と會見、時局に闢して電要進言を行つたことについてる類隆相は八日の胸議顧阿部首相と會見、時局に闢して電要進言を行つたことについてる 政府の態度重視さる 日海八日後國通 2 総中南支に活躍 中南支に活躍

皇帝陛下 御訪

柳川與亞院總裁

行南京へ

「油頭八」 本側の競表は支那新政化 本側の競表は支那新政化 本側の競表は支那新政化 として準備、地 を定したの を定したの を定したの

現地軍代表歸任

約十日間の豫定で十

方民衆はこれが誕生に絶大の期待をかけてゐるが、教の期待をかけてゐるが、教の期待をかけてゐるが、教の期待をかけてゐるが、教の期待をかけてゐるが、教の期待をかけてゐるが、教の期待をかけてゐるが、教の期待をかけてゐるが、教の期待をかけてゐるが、教

での内記が何處まで強腰する の内記が何處まで強腰する の内記が何處まで強腰する の内記が何處まで強腰する したが、 ないがよいない所者五日に 事中將は八日夜ひかりで想 かってるたが一月一日堂に 事中將は八日夜ひかりで想 かってるなほ安協ならず、砲 ひ間の新京に着任したが、 本部二階譜堂に初登塵し所 の内記が何處まで後腰する 員を集め

平観何れの時を間はず赤

遠巡は許されない。 遠巡は許されない。 の時いさいかの停潤 の時いさいかの停潤 の時いさいかの停潤 の時にさいかの停潤 の時にさいかの停潤 の時にさいかの停潤 の時にさいかの停潤 の時にさいかの停潤 の時にさいかの停潤 の時にある。

▲大津鋪武氏 本字交通部大臣 市

その日く

**清準輔由にて東上、十二日午後東京斎の豫定は皇帝陛下御訪日に闢し日本側と打合せのた** 棚**庭**軍吉剛少將、鹿兒島宮内府次長、荒井宮

が如何に氷炭相容に のの内裏の

《日曜水》

徳入城の皇軍部隊

海運統制 協議 「東京園通」支那方面的 最近支那方面の物資でま 最近支那方面の物資でま

六億圓大臺割る

たつて聞いてみたらとこ

目 下上映中の 新妻問 闇太郎ざんげ 答の品作大二

長 春

吉浩田高

権は確立されてあるのか。権は確立されてあるのか。



ストラ 熱 美 大 楽 美 楽

目出度い國策赤ち

製売命名といへよう、この 製売命名といへよう、この 製売命名といへよう、この 製売の名を載いた恰好の なおとか展子ちゃんとか康 ないふ三日生れの坊やは なさんの名を載いた恰好の なさんの名を載いた恰好の なさんの名を載いた恰好の

(日曜水)

何をいつても二月八日の猫男は太髪なものであるが、

のお正月は日系ほど贅澤くなりました、殊に滿系も以前ほどの難問題でなる以前ほどの難問題でなるなりました、殊に滿系

にも手掛な

た一化た犯 らなをの事血頭

は四人であり中 中の者は三名 中の者は三名 一

の鍵足取りに

躍進の國都を

を体が報稿家社長のメッセージを体達する。 がある。

お茶で茶道具

0)

店

みごりな

諸手續交がを代行す

全世界に紹介

まつ間に半数が腐敗して**る** 機敢中の約十萬棚も荷役を

寮運需のため三、四割まで 大連めがけて押しよせた初

防寒コート見切賣

新春銘仙大會

大連めがけて押しよせた

市公署經濟整

小麥粉、錦糸布等重

要石

小軍恤兵献金

二回目の

を調査のため入日大連入港の繋河丸で振造したが語るのため入日大連入港で加州に際いた産地和歌山の繋河丸で掘造したが語るので如何とも出来なかもので如何とも出来なから最近なであるが、満洲必需はであるが、満洲必要負債として致くことが語るとものでながであるが、満洲必要負債として対したが語るとの方でも数分がある。

麻雀同業組合(茶社)

松鳥前朝鮮課長

至滿運動具商

聯合會議

東京野神空間後、出 東京野神運動具を開催、出 東京野神運動具を開催、出 東京野神運動具を開催、出 東京野神運動具を出版。 南より岩田氏、日本からも 東京野神運動具を出版。 東京野神運動具を出版。 東京野神運動具を出版。 一、東京・新春運動具を講談、八・〇〇(東京) 國民歌 一、東京・新場・女可決・ 一、東京・新場・女可決・ 一、東京・新場・女可決・ 一、東京・新場・女可決・ 一、東京・西田、左の事質を講談、「船出の職」ユーアオニー を企っ、作、新場・女可決・ 一、東京・音響員の件技神 一、東京・高年の一、大百屋小町春日 でを決定。 一、東京・西田、左の事質を講談、「外間情報部川面隆三本 ・ 本人・三〇(東京) 第一の ・ 本人・三〇(東京) 第一の ・ 本人・三〇(東京) 第一条 ・ 本人・三〇、東京) 等 内 ・ 本人・三〇、東京) 第一条 ・ 本人・一、八百屋小町春日

行事を築しませるや

を 全 で 日来 同様 単版 不の と 、 て 「日来 同様 単版 不の と 加 に 同計 に かけざせませぬ」 と 同計 に かけざせませぬ」 と 同計 に 月まで 相信 日 時 も あるこ 正 月まで 相信 日 時 も あるこ

家庭不自由させぬ

は次第に蒙古方面から南

何處で食事と

に 十度を突破、今多の最低記 で 録を示し市民を一齊にふる かに及ばないが、大陸的多 の陣は漸く整つたわけであ る、中央観象臺では大の如 く語つた

東へ向つて張り出してなったの街頭へ一般に低くなつてもいったり、一般に低くなつてもいったがしたなったものと慢性を対するとなってもでいる。

新指令下、

捜査の手伸

强三

が對策に慎重者にある。

本十銭となり減人側牛乳は上げを誇可したカ、これに

我子が便り

検撃され今は法の

り國防會館に於いて開催され合總會は十日午後一時よれ合總會は十日午後一時よ

あす商品券抽籤

日満間に

新京商店同業組合の興銀儲 著債券並に商品券の景品付 護末大賣出しは費上金六十 英盟を突破する好成績を收 めたが、待望された景品の り記念公會堂に於て所轄中 中通署警察官立會の下に開

謝近火御見舞

一種版(2)ニニセル書

かれることとなった

清洲炭礦株式會社 第**第** 

光井兵曹の盛葬

光井道雄氏は去

鍵方の値

なった。

で変した。 一、電行委員会の 一、電行委員会の 一、電行委員会の 一、電行委員会の 一、電行委員会の 一、上田洋行、スター運動 基具店、奉天=跨育堂、伊 で変員選出の件は哈爾護 は、本部委員二名 を は、本部委員二名

あす總 會 無 国 に 異 組 合

売非謙の宮

(=1

# 型破りの大陸冬の陣急調子

一朝の寒さ卅度一

た演武場に九日午後四時より 別道石橋教士、不道城戸り 別道石橋教士、不道城戸 正午からは本廊笠場で管下正午からは本廊笠場で管下 全警察官の武道大倉を催し ふから店開きの禁煙總局

・ 手管を整へてゐるが、一方 信服糯米配給にもれた鮮系 には舊正月前に日系同様。

爾賓市立病院で行路病死事の起りは昨年十月八日

十隻十

旅客ラツシュ緩和

れ従来の七隻か十隻十九航 (七二六七トン) らぶらた丸 (七二六七トン) が配船さ

音麗夏 開原

九航 朝急激した、享年六十四 都さ 倉談長上郡山丸別氏は三日 新さ 倉談長上郡山丸別氏は三日

な佛式告別式を教行した したので九日午後一時から 同府兵舎道場において殿庸

福田101七番

黄金景

流カフェー

次二事件人

「大きのと推測され、これ

たものと推測され、これ

に依れば犯分を演じた時間

に依れば犯分を演じた時間

になり同家から二十分で
になり同家から二十分で
になり同家から二十分で
になり同家から二十分で
が約四十分位であり、し

一方自由見込捜査班は事件

で想きとり食は侵入前約
の全貌を推定、それに依る地點内の飲食店を調査

「次達記とかっと推定出來ること
捜査を行ひ現場附近は勿論

でる特長を有してゐる事

を集中してゐる事

を集中してゐる。

「本 中旬日滿支飛行機早廻りを大陸新報では紀元三千六百年記念事業として二月六百年記念事業として二月六百年記念事業として二月六百年記念職と

日滿支飛行

女給仕數名急募本人來談 (廣豐及治縣和人來談 (廣豐及治縣和人會社會方) 中居さん至急入用 本人御来談下さい なめしばか

雖事 職 国 圖 面 職 工 職 工 職 工 職 工 計 計 別 型 製 成 公 記 引 型 製 成 公 記 記 製 成 公 記 記 製 成 の 記 記 製 成 の 記 記 製 成 の 記 記 製 成 の 記 れ の こ れ の 記 れ の こ れ 。 の こ れ の こ れ 。 の こ れ 。 の こ れ 。

與亞鑛業 業事務份

和介所

國都

自動車譲度し、七八八九年フォード三季新京東二條通り

**业**能以上

世至意本人師を表下 土 二 六 蔵まで ー ビス 探 採用

帝都キネマ等務所

河希望の方

と存じ取敢へず紙上を以て御り上御挨拶可申上锅の處混雑が厚く御禮中上锅の處混雑が下され御見舞を辱ふし誠は下され御見舞を辱ふし誠



大船の新星

度かございます



1,20 4,20 7,10 1,50 4,40 7,40

建设额子祭 12,00 2,30 5,05 7,45



溫太郎機能 11,15 2,11 5,07 商品

果の限 12,00 3,00 6,50 8,50



= ユース 12.00 2.58 5.56 8.54 無意歌合職 12.21 3.18 6.16 2.14 10.52 山のチゲール 1.33 4.31 7.29 空の彼方へ 1.48 4.46 7.44 8日より12日迄 料金80セン 大 週 資見明人太郎 一行 來演 理を始めました是非御試食の御行望に應へて新鮮な材料とてで、大切はり輸入致し料理は全 ある部屋と優雅な設備調・理師の 致します お風呂の設備が して居ります 当町三丁目 電(3)五二

ニュース 12,40 3,55 君を呼ぶ歌 12.55 4\*10 南の誘惑 11,00 2,15 5,30



华 明 光 红 木 铁 人 三 元 人 子護山高



かるものでもなし」 に戦など、第一編いし とをしてみたとて、兄

と、状箱を差出した。

(四)

近

彦勇

外經濟電報

『お出かけか?』
『らむ、食満まで、ゆつくり話さら、待つてるてよいのなら』
・主馬が、
・と、送って出た男が、
・と、送って出た男が、
・ にいや、出直す」
・ と、送って出た男が、
・ にいや、出直す」
・ と、送って出た男が、
・ をへて、主馬が勝つた。
・ が、是非勝を行く自分の姿を、
・ 地田屋事件。 その外大小の事件で、南文に新監組の名をあげて来たが、薫声で心にが、と非勝等のないことだが、と非勝等のないことだが、と非勝等のないことだが、と非勝等のないことだが、と非勝等のないことだが、に見分にいよが、近月以来の腹心の人々をこの時に

つく づく倒じはて

阿美新大 日精清自東電消日日同野日日祥帝同籍大资

HILLI HILL

ほまれ

味

りましたと申して歸

先中营 2000 OKUX

BIB

ルピ男大街大局大京新たの九六八八一二回話電



社會式株油醬田野洲滿









山岳地帯を進撃する○

る〇〇隊(上)

山寨を覆滅

てゐること

志」編輯部では九日午後 | 宴會を開催長谷川闕東軍報米文藝界の代表雑誌『鑑 | 五時から中親倶樂部に新年

二十三名と、同じく下水村 の先遺録二十名及び第八文 信濃村本殿十名で十日正午 信濃村本殿十名で十日正午 長野縣廳に勢揃ひして富田 畑事の激勵を受けて後縣主 位配と行音に臨んだが一行

長野縣から勇んで渡満

資加し六日未明幹を西方に 合部職約二千が幾存するを 合部職約二千が幾存するを

全支に活躍

りれ歩にび奏

数死三、同下士官兵十一八、我方の損害滿軍將铰

日滿軍討匪戰果

永田鐵相、

身閣僚は首相に對して依然 いては永井、秋田兩政黨出 いては永井、秋田兩政黨出

要ありとし在野五薫首との 型の情勢、殊に軍部方面の 動向に鑑み態度を決する必 要ありとし在野五薫首との

日中に閉ぎその修政黨側の登録は、後的決斷を下すものと思は、

(株内閣改造を發表する複様で よればフランス政府は近く よればフランス政府は近く

めが、詳細は未だ全然判別改造を發表する複様で

共産軍打倒に必死

度決定は五黨首會合後か首相の態

# m & D M & D

**盈行** 17 8

水型內之 水型內之 水型內之 水型內之 水

マヒットラーの獨断 → 後 ・ は東洋文化や日本精神の本 紙にする必要はないけれる。 本人及び日本文化とくに日 本精神の貴さに目ざめなける。 本様神の貴さに目ざめなける。

### -11111 富面 の諸問題を語る

強 作約の改訂問題が相當要慮 に されてあるやうだが自分の は されてあるやうだが自分の は もアメリカは自國内で消化 といふ立場にある、それであるスクラップにして たっか もアメリカは自國内で消化 といふ立場にある、恐らく か 多分の メステュアに過ぎな か 多分の メステュアに過ぎな

青鳥海軍武官府發表

烈を 型武 左の如く發令した。 電山 簡任一等 許 電 の播 佐願免本官 小原

をれいを

魔とも諒解なりこれら諸方策の實施は多大の成果が期待され、策を左の如く決定し直ちに實行に蕭手することとなつた、これが具體的實施方策につき協議中のところ遠薬部農務司に、策を一步押進め腹熱七年に於て一擧にして食糧問題を解決す

於では取敢ず米敦、 れ等食用農産物増産に

見ないとしても一時借入金 で賄ふことも出来るし別に で賄ふことも出来るし別に で賄ふことも出来るし別に で賄ふことも出来るし別に で賄ふことも出来るし別に で賄ふことも出来るし別に で が、調はな株質の詳價で多 が、満化株の誤渡問題も同 が、これも別に事情があつて がこれも別に事情があつて がこれも別に事情があつて がこれも別に事情があつて

**小學校を増設** 在滿日系兒童増加の一途

いのに經補りさば 園、満鎌負盤金三百三十萬 選頭があり部記國庫負擔金 大百六十三萬國に加へて合 計二千百八十萬國に加へて合 計二千百八十萬國に加へて合 計二千百八十萬國に加へて合 にある、明年度關東周豫第 に於ける在滿日本人教育費 に於ける在滿日本人教育費

(イ) 中等學校新設七校

全員 (本) 本 (本) 本

内に於ける共産軍對山西軍 りも共産軍打倒に余力を注 軍百士師關係の通信を攻 大阪 であるが変水西北方廿七年 地東北三キロ王家藤附近に せしめて居り両者の呼吸を 電流 であるが変水西北方廿七年 地東北三キロ王家藤附近に せしめて居り両者の唾み合 分着。 アス路軍を打倒し、而して 地東北三キロ王家藤附近に である。 アルビアの自然軍を打倒し、而して 地東北三キロ王家藤附近に である。 アルビアの自然軍を打倒し、而して 地東北三キロ王家藤附近に である。 アルビア であるが変水西北方廿七年 地東北三キロ王家藤附近に である。 アルビア である。 アル アルビア である。 アルビア である。 アルビア できなん アルビア でんり できなん アルビア でんかん アルビア でんかんかん アルビア でんかん アルビア でんかん アルビア でんかん アルビア でんかん アルビア でんかん アルビア でんかん アル 

次の日程を終了の5へ十四 一次の日程を終了の5へ十四 一次の日程を終了の5へ十四 一次の日程を終了の5へ十四 一次の日程を終了の5へ十四 一次の日程を終了の5へ十四 一次の日程を終了の5へ十四 一次の日程を終了の5へ十四 一次の日程を終了の5へ十四 



・に肌おの冬の中す



麻負擔額を計上してゐる で八萬八千名の教育養國 んで八萬八千名の教育養國 んで八萬八千名の教育養國 佐願免本官 宮內府總務處長

四年度豫算編成當時の在滿 は一般地方に於て五六千と年年 は一般地方に於で一萬、開 は一般地方に於で一萬、開

△十一日午前十時州分郵政 管理局観察 △十二日午前十時州分航空 管理局観察 △十日午前十一時鐵道總局 力魅つ持

滿鐵辭令(九日)

建設局哈爾濱在動 ・ 参事 佐藤 周吉 ・ 佐藤 周吉

| 文化の交流問題及び照邦日本の皇紀二千六百年慶祝事 處長の更迭

・加州田氏轉任挨拶 高 ・加州田成法氏は九日朝任 挨拶に本社を來訪

リヱいなら要の下粉白

大学、 
一大か 
一大か 
一大か 
一大か 
一大か 
一大か 
一大か 
一大か 
一大か 
一大が 
一大が

日本が厳として東亜野に開し何等の心配別に開し何等の心配別に続ては関いたでは関いま強優性に対して東亜

新事日を満たされた。 素を高いない。 素をである。 素をである。 素をである。 素をである。 素をである。 また、 ののでは、 ののででは、 ののでは、 ののででは、 ののででは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 の

整の遂行、日本人開拓民の を力を注ぎつくあり、此の 全力を注ぎつくあり、此の 全力を注ぎつくあり、此の 全力を注ぎつくあり、此の 全力を注ぎつくあり、此の を展は又一段と其の光輝を を展は又一段と其の光輝を を展は又一段と其の光輝を を展は又一段と其の光輝を

大建設 で誠に目 で誠に目

(=)

を中心に少しく考へてみたいと思ふ。一部の人をはひとと思ふ。一部の人をはひとと思ふ。一部の人をはひとと思ふ。一部の人をはひとと思ふ。一部の人をはひとと思ふ。一部の人をはひたく簡単に考へて、整束の文化を持つて来てめるのである。 彼等は彼等なりにあるが、これは甚しい誤りである。 彼等は彼等なりにれてゐるものと遠つて來でめて来てゐる。 ただその表現。 といふだけのことである。 ただその表現。 といふだけのことである。 といふだけのことである。 るに對し汪精衛城中國國民 よりの公電を使つてこれに 上りの公電を使つてこれに 「無應する重大選明を設すべ く準備を進めついあるが、 く連備を進めついあるが、 と題し隣邦の野瀧に感謝す と題し隣邦の野瀧に感謝すると共に更に和平敦國の進展」

奇襲

兵工廠を

部首相、野村外相、酒井農 川の福府本會議に上程・阿 川の福府本會議に上程・阿

付いて野村外相より観明が 當日は兩國々交調整問題に されるものと見らる、なほ

英內閣

大統領は八日駐濠洲初代米

任命した・

ガウ

生糸の調整に

切符制を採用

當なる偏在を抑制せん

せんと

り不良のため一部荷主が締 り不良のため一部荷主が締 なトラック書

てロンドン入日發園通】ホースのではないかとの観点は依然各方面より批判の野は依然各方面より批判の野は依然各方面より批判の野にはテエムパレン再開の難にはテエムパレン再開の難にはテエムパレンを関係とする前提なりともいはである。而して一説が上ではれてある。而して一説が上である。而して一説が上である。一般に直面するが、一般に直面するのではないかとの観測が行けれてある。而して一説がある。一般によれば同陸相の更迭はチャーチル現海相のもとに「帝國國防省」を新設した。

未條約

關係を締

ツ通商

交涉開

務省より正式に左の通り競 いれて米隆兩國政府は外交 にれが決定を見七日米國國 のはと溯く

周盟の診解なり若し獨ソ兩 場合はイタリーに侵入する 場合はイタリーに侵入する である、チャーキー外相は である、チャーキー外相は デェネチアを出強ブダベストに向つたが政府に復命したの同意を得た上調印のた ひェネチアを出強ブダベストに向ったが政府に復命したの同意を得た上調印のた

の發

三萬五千噸米船 (ワシントン八日發園通) 中間するに海軍委員會筋より今年度において發記さるいき商船建造の數は数十隻に上る見込である、右のうに上る見込である、右のう

類は、 「モスクリ七日 強大使、 展島公使は七日外 加賀易人民委員部にミコヤ 次委員を訪問通商交渉開始 せいる二十日頃から正式交渉を 装 に開し打合せを遂げた、 來 際 から正式交渉を 装 で となる複様で るっちる 表し得るよう設計されてる 禁し得るよう設計されてる 禁し得るよう設計されてる 禁し得るよう設計されてる

をお慣権の協定、小麥粉輸出組合設立等を行ひ各社間 出組合設立等を行ひ各社間 他一の製設機構として貢献 他一の製設機構として貢献 を行び各社間 を持つかれたる日清 製粉は循臘突如

保、生糸の適正價格の實現 経済では生糸の適正價格の實現 品等臨時措置法に基く生糸 の需給調整並に配給統制を 動存制度を採用、稱統物等 最の製造叉は生糸の施出教 に生糸の施工價格の實現 にて又は商工大臣の指定と になった。 最の製造叉は生糸の配給 に生糸の配給 に生糸の配給 に生糸の配給 に生糸の配給 に生糸の配給 に生糸の配給 に生糸の配給 になった。 にな。 になった。 になった。 になった。 になった。 にな。 になった。 にな

本契粉聯合會は結成以來小 大社をもつて組織された日 大社をもつて組織された日

商况独場

変管理局長 新政管理局長 新

●大連株式 (短期) CAP OF ME 元 (短期) 大引 (短期)

102

形で、イタリーがプロッタ 結成により将来の行動を東 様改善に乗出す意向を明瞭 にしたことは、バルカンに 最火が擴大する可能性を少 くしたものとしてこれを歌 迎してゐる

爾任問題

海登急行で南京に向つたを恩園路の公館に訪問、を思園路の公館に訪問、た日午前八時でしたが、九日午前八時で

滿洲進出 二菱鑛業の

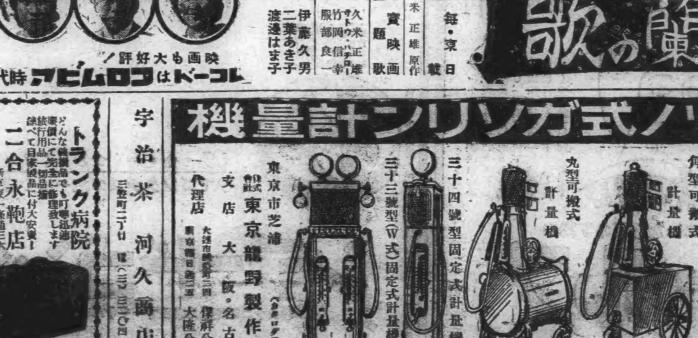
明 演求と協力して石咀子銅山 とになつてゐる、滿洲採金 宣社を設立することゝなつ 自社を設立することゝなつ 意社を設立することゝなつ 自社を設立することゝなつ の推動ともいふべく注目さ た、新會社の名稱は昭德鏡 た、新會社の名稱は昭德鏡 た、新會社の名音科は昭德鏡 た、新會社の名音科は昭徳鏡 た、新音社の名音科は昭徳鏡 た、新音社の名音社の名音科は昭徳鏡 た、新音社の名音科は昭徳鏡 た、新音社の名音科は昭徳鏡 た、新音社の名音科は昭徳鏡 た、新音社の名音科は昭徳鏡 た、新音社の名音科は昭徳鏡 た、新音社の名音科は昭徳鏡 たいふべく注目さ といるる。

ツク激増舶は所

魏型固定式 計量機

大連埠頭に於て曾て見ない大連埠頭に於て曾て見ない大連埠頭に於て曾て見ないた一原因も海上トラックした一原因も海上トラックの入港等によるものであるが、從来瀬戸内海沿岸に活が、從来瀬戸内海沿岸に活が、從来瀬戸内海沿岸に活が、從来瀬戸内海沿岸に活が、從来瀬戸内海沿岸に活が、從来瀬戸内海沿岸に活

川田の東充質、清洲間あ民政治の適正、日本国 第の徹底的遂行と合せて滿 別國民の激育普及等が先づ 十分に實現されることが望 ましく其の實現程度如何に より滿洲國の將來の發展に は非常な 遅速の 結果が現 [中二九、大田、大 鏡 體軀の保弱 風邪ヨケ ロキヨケ



醫學博士

れが急に要つて來まして。んてありませんでした。そんでありませんでした。そんでした。そんではない。

まあ本てをの砂異

一、近視になり易い素質

らしても近親にな

座講民市

眼科診療室

9、種々の注意も充分されるのに何故に近観が毎年年

おしい問題で、 をかし食べ物は しかし食べ物は

御返

(三)

は 人々にも亦この盲人教育の と であったりしては誠 
り 方面に力をつくしていた 
いのでありまして、 
入の道に入らせたりしては誠 
り 方面に力をつくしていた 
の道に入らせたりしては誠 
で 
さな家を一つかりて、 
内地 
の一つとしてこの方面を考 
さうして指導階級が出来 
す。それは官立でも私立で 
ましたら、数多い他民族盲 
ながらして知何とも治療し難 
へられてはと呼びたいので 
は 
勢し、この方面の教育を始 
へられてはと呼びたいので 
は 
等し、この方面の教育を始 
へられてはと呼びたいので 
は 
等し、それは官立でも私立で 
ましたら、数多い他民族盲 
提 
本もとちらでもいくのです。 
こうして指導階級が出来 
方 
ないのでもいるのです。 
こうして指導階級が出来 
方 
ないのでもいるのです。 
こうして指導階級が出来 
方 
ないのでもいるのです。 
こうして指導階級が出来 
方 
ないのでもいるのです。 
こうして指導階級が出来 
こうして知何とも治療し難 
こうして行び入済別域の礎を 
たましたら、数多い他民族盲 
提

上をります。一と毎日々々のをたべてをいませる。そのをなべてをいませる。そのは対域になったとからしたとからして変まして。そのをなべてをはなったとからしたとからして変したとからしてをいません。そのをなべてを

日常それを使用してをりまして、見つお菓子等をみまして、見つお菓子等をみましても御存じの如く城内の

(日 曜 水)

取線のクリスマー

ス

サンタークロースプレゼントを受ける第一線

語學校の整備が興亜院の ・北京興亜県院 ・明治州・北京県亜県院 ・明治州・

てゐる

り、御内意の長さに関 係官は具管感激申上げ 係官は具管感激申上げ

とい心情を 野花を發見し 野花を發見し

鋼小の上れる

歌會御兼題

(北京八日褒國通)「東亜 建設の人材を現地で養成せ よ」との際は事變が建設的 との際は事變が建設的 でに二年に互る懸案になっ でに二年に互る懸案になっ でのたがこの程北京川亜男 院の設立、北京日本學生會 の結成が相ついで實現し興 更人材養成の前途に新しい

に因

人材を養成

北京與亞學院誕生

給機闘の型 たる糧穀會社 興亞建設

局梁混用も同時に

開東州工業土地株式會社で の買收を終る皮取りとなる は当立以来戦意州立海定理 なった 一大 (本の大) (本の大)

月中旬

實施か

中銀帳尻 (六日) ・一銀帳尻 (六日) **业**上 地 地 大四二 三二七 九二七

△1、100円 他も相次いで發送の手間網みでも

料として配給に充てられる人荷豫定の九千八百俵、計一萬八千人百俵が滿洲製麻會社區

40% A

芬蘭が誇る **氷上選手戰死** 

十分項夕張炭坑質谷地坑札幌國通】八日午後四時

ガ湖東北方で

月月月月月月月月月月

世界スピードスケーテンションを搭起してゐる、ションを搭起してゐる、ションを搭起してゐる、

李交通部大臣は工業都市寨天の 近北、 鎌京徳 1年の新春に當り李交通機關を観察すると、 かまった、 鎌京は十四日午後一時である。 スは發許済みのジュートは 知當あるが今後どの程度に が入が許可されるかは不明 ある

精銳廿六選手

鮮滿對抗冬季大會へ

滿洲側代表團決定

一能江省に分地を設置。 大ヶ級修練 小平権一氏は農林省的山技 が一般した海洲 一個と共に開拓民募集のため 別関龍江省 師と共に開拓民募集のため 地として建 遺脈を選出すべく直ちに具 地として建 遺脈を送出すべく直ちに具 地として建 遺脈を送出すべく直ちに具 地として建 遺脈を送出すべく直ちに具 地として建 遺脈を送出すべく直ちに具

時間演農大の 時間減農大の 大陸開新載士養成を目的と 大陸開新載士養成を目的と として哈爾領に新設されることとなった農科大學は設立 を進めることになり東を 一日午前十時から市公署會 二日午前十時から市公署會 す。もう少し自然のものを 振りたいものと考へます。 近親になる人は 科科院 を帰る

【東京國通子農林省並に農 表場の分場を滿洲國龍江省 農場の分場を滿洲國龍江省 農場の分場を滿洲國龍江省 標することに決定、更に右 指導の模甌開拓地台導者を同分場で訓 推定約二百戸は長野藝諏訪 郡より入植せしめる方針の

計量を考究中の折響を進めると

当(率)小野寺 

流話の社 

に感謝さん、佐藤

**到日壓迫** 旅馬政治 表亮▼面白い名士の噂かる一

豕庭の旗

念に紀せむ青一英治 千六百年

れに載故者入植敷二百六十 名を加へると剛榮村の日本 人人口は一千三百十名となり、總人口は一千三百十名となり、總人口は七千五百十名となり、總人口は七千五百十名となり、總人口は七千五百十名を機は昭和八年 た總親和の和かな氣分を決たせても、。 で、これ等居住者が居住してを た總親和の和かな氣分を決たせてある。さで前記二百 はせてゐる。さで前記二百 に関籍の概念を捨てた明朗 た世である。さで前記二百 に関籍ので、これ等居住者が居住してを た。 と、一年と四個に亘り

# 日頃弱い方は注意

獅子の子が生れ落ちて 瀬子の子が生れ落ちて 連点なくへ、幼童 一頭なると紙張校の獅 の尾羽を植また紙張校の獅 一頭ならち振りく、幼童 一方面をうち振りく、幼童 一方面をうち振りく、幼童 かにも哀れ深い越後獅子の かにも哀れ深いあるが、鶏

越後の國

『あゝ二千六百年祭だ。目出度

今年は紀元三千六

● 1 日のことば」 牧野宮間「母のことば」 牧野宮町 日のことば」 牧野宮 

協和煙草株式會社

金鶴が創り

約販賣

毎日午前九時より販賣開始

大、二五(新宝)コドモの 新聞 新聞 新聞 大、二〇(新京)コドモの 新聞





傳説を調べて

を熟心に演じつように で不思議や濃霧は消散して に変名で獅子舞に免許状を きまり。そのしるしに辨慶 を連名で獅子舞に免許状を きづけ、諸関を遍歴する兄 は業経榜の着用を は業経榜の着用を は業経榜の着用を

立ちも獅子の脱りも、みなであった、勇ましくも気魄の龍つた獅子の姿ではある

ぜん一 「妄は、貴方など、変なくては生きてかられ、実はあなた

ないタ大型は ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 ないのでは、 でいたがら、 でいたがらがらがらが、 でいたがらが、 でいたがらがらがらが、 でいたがらが、 でいたがらが、 でいながらが、 でいながらが、 でいながらがらがらが、 でいながらが、

せり、小胡瓜のみぢん をふりかけ、食中に抽 給切をのせ、右手前に を付合せとして熱い所

新春笑話集



### 「女大郎長」をで覧にな 画中の素敵な歌がこれ 江口夜詩の第一環ノ、この歌手!

中電車の中、礼車の中、その他銀行、 ・一会社 工場等、凡を人の集る處で評判に なつてゐるのは、婦人俱樂部親年號の です。 られて何覧になった方は一人後らず 「生産化粧」深になるのですから全く 物凄い人氣です。



### 季は胃を中心として激痛 にとが多いのですが、胃 ことが多いのですが、胃 ことが多いのですが、胃 にとが多いのですが、胃 のです、贈石病は脂肪 をいはれてあるもの 学といばれてあるもの までも食餌が停滞していつまでも食餌が停滞していつしいといつた風なもので、この病氣は食べ過ぎが一番この病氣は食べ過ぎが一番でければなりません 胃アトニー症の症状はいつ 家庭で食師の撮いので、暴飲暴食は慣まなければなりません。 この病氣は食べ過ぎが一番 で、光分注意しなければない番いので、暴飲暴食は慣まなければなりませんが、家庭では食師をなければなりませんが、家庭では食師をなければなりませんが、家庭では食師をなければなりませんが、家庭では食師をなければなりませんが、家庭では食師をなければなりませんが、家庭では食師をなければなりませんが、家庭では食師をなければなりませんが、家庭では食師をなければなりませんが、家庭では食師をなければなりませんが、家庭では食師を発した。 とれば胃病ではありません 要でせり し、熱はある場合と無い場合がありますが纏の弱い人があゝり易いものですからこれから寒くなるにつれてこれがら寒くなるにつれて

△…… 機く時は味噌を取り去り金網の上で色よく焼きあげ、皿の手前の魔に小蕉のあちやら漬をこんもりと盛つて、赤唐辛子で憶裁をよく飾つて供しますと後口がさつばりして結構です

国兄弟が住んでゐた、彼等 村に角兵衛、角内、角助の 村に角兵衛、角内、角助の

子養の一番多いので四人、 大抵の人達は一人二人とあるが、中には未だ惠まれない人も少数年らはある。こ の人達にはもう花線と、こ たいなですといいなると にれ等の化線達 四人、だ

やはよき母性

やうになつてからは全く やのやうに戸別に住める ともありましてね、でも たりましてね、でも が一番困りました、それ が一番困りました。

は此處の生活が内地の農は此處の生活が内地のやうな氣がしまれた。それに共職組合が出来でからは物品は何では、今では、それに共職組合が、

開拓地の正

若き開拓風景

幸の解来といふことに付て 高、記者は或る化線・シンを あ、記者は或る化線・シンを をすかが、ことに付てる をする。記者は或る化線・シンを をする。記者は或る化線・シンを をする。記者は或る化線・シンを をする。記者は或る化線・シンを をする。記者は或る化線・シンを としておいて何かおるとに付てる をすった。とはあります。 をはつたけいなりですのはます。 をはいる。 とは、あります。 をはいる。 とは、あります。 をはいる。 とは、あります。 をはいる。 とは、あります。 をはいる。 とは、あります。 をはいる。 とは、とは、あります。 をはいる。 とは、とは、とは、とは、あります。 をはいる。 とは、となる。 とは、となる。 となる。 となる。 とは、となる。 となる。 とな。 となる。 

斯門の鐵谷 場間屋、製井町鐵谷商 場で、大大の三四

天野ラサエ

御間之助 河野省二

康吉の立志

歌の底力がとするのだ 新年文藝詩選外佳作

野に出てきいてもらひたい 動に出てきいてもらひたい あれこそ東亜久遠の平和の か この初日の大らかさ

アカシャの葉が緑に陽をす 1るのだつた。 べっを敷いて刀の手入を ながれ

は、 、水の様に澄んだ刀身には、 、放郷の背戸の古井戸の匂か 、あつた。 しからもう一度油をひい

(日曜水)

たところで一人の たところで一人の ところで一人の ところで一人の ところで一人の を別定す を別に必要である いに必要である には替つて満洲ロ たっ生張を試 になった

いるのをはつきり切らせた。

一時の心境小説を打破してこのひ 一時の心境小説を打破してこのひ 楽多年のこの人の腕はしつかりし り知らせたりをためたりをためたりをためたりをかったりをかったりをかった。 である。 職事がはなるが、 である。 職事がはなるが、 である。 職事が出した一人の職職り」と題

大内陸維は満人作家の作

を とままるやうである。 たままるやうである。 たままるやうである。 たま長谷川溶 は、 ことは に、 季刊誌『満州浪曼』に と は が 解明の一途に出ないことは か が満日の文登時間で著しい に ととままるやうである。 北村謙次郎



「これが社會人になる頃 「これが社會人になる頃」

いて見ては、責任を感じて、時々信用回復と呟この時も康吉は何かしら

でかったい。 (いんのはこれである) とこれである。 目を開けて行っては必ずに行っては必ず

・ 五十位の年配のこの旅行客はやはり書間と同じ比較 のたが食事が終ると、先刻 ホテルの玄闘前で車を降り た時示した明るい色を額に

一等入選

たった 素材は眠って で をの客の限を触めてゐると 客は更に言葉をつかけた。 ですね。川下には電氣化學 と人造石油の大きな工場が と人造石油の大きな工場が とも摘めないでものらつたが、結 いが作傑い台面でけ扱バスい台面い台面

厉



世界的な粉末あり

の通牒を受けた新京米配給で野事業の組織を受けた新京米配給で

新京地區に於ける米の公定 第溝議中であつ、熊により、配給組合に於て より手敷料其の より手敷料其の

他誘掛を加

が、市営局では今囲提示でなっていた。

様者である▼その總裁に健康の秘訣を尋ねるを言下に 康の秘訣を尋ねるを言下に 康の秘訣を尋ねるを言下に 飲むほど時間の餘裕を特た 飲むほど時間の餘裕を特た 飲むほど時間の餘裕を特た な、時間をつぶしてまで画 を飲まうと恰思はぬ」と附 を放った▼タイムイズ スネ

お米の小賣價格決る

の勇士。を追慕

等兵曹の告別式

以三十銭値下げ

れた小賣債格の適正なる事を認め九日批を以て新京地 區に於ける米の公定小賣債 底に於ける米の公定小賣債 格を次の知く決定した 無砂米四五ギログラム (一呎)

搗 分 が春六浦 カを十貫

新京 辻

0

紅炎

症 治 主

●●●●● 虫小か男むね神 見た女ね小郷 かこ性の

**上間四十五銭** 

騰勢時代に嬉し

10

法院初公判

から強火したもので損害値 本に至らず縦火した原因は

紀元の佳節に

となってあるが、その後、出たる 東護に を へて 富島で おきなってあるが、その後 おきなってあるが、その後 おきなってお動したが未だに確 なたる 東護はなく、捜査本部 される 東護はなく、捜査本部 される 東護はなく、捜査本部 される 東護はなく、捜査本部 される 東京 はいました。

告に接した結果、諸種の駅 現から犯人は市内或は近郊 の見込みをつけ底定の捜査 の見込みをつけ底定の捜査

民協力の功績願著な

った。最高表彰を行ふこと

日本精神を昂揚

数島高女生の記念催し

弔慰金ご

唯を綾行することになった

研究會 體育

雅」がまたまた豪れ始め 態よ本格的な厳寒期の到 と共に大陸の嬢な名物 コ

防犯協會から 三笠町事件に 吾こそ

た兇組なる犯人

三笠町没人强 一一同連日の心 一一同連日の心 一一同連日の心 では保負

来る二月十一日紀元節當 来る二月十一日紀元節當

徴し左記記念行事を催す

日本精神の見場を聞る 等の日本古來の音樂の演 等の日本古來の音樂の演 等の日本古來の音樂の演

組拳銃張盗事件發生當時兇に於て田村副總監より四人に於て田村副總監より四人

うち一名を斃した店主の弟 に邪慰金と勇敢に賊と闘ひ に邪慰金と勇敢に賊と闘ひ

第一様數學研究會が開催される 「機像数量三十名參集し多期 を行ふ筈で又二十日には同 を行ふ筈で又二十日には同 を行ふ筈で又二十日には同

でも同様の傾向をみせてあるといふから一般の感冒患見られる、済織階院内科富 見られる、済織階院内科富 に思いますが少し早く始まり一日 まずが少し早く始まり一日 まずが少し多すぎるやら に思います、しかもまた まだし、増加するものと まだし、増加するものと

を得される普通の核科。 を得される普通の核科。 を得される普通の核科。 なる大陸には避け離い現 薬でせう。洗感による肺 年と一寸傾向を異にじて るますが、洗感をのもの で入京する をと一寸傾向を異にじて で入京する で入京する たは今のところ平年並み で入京する で入京する

新聞の

御中込は一

西五馬路小火 九日午後一時ごろ西七馬路 火し天井を焦しただけで大 大日午後一時ごろ西七馬路 大日午後一時ごろ西七馬路

を 紅の辻の 表 一帯の世界の

灸基母

休暇の

宿

### わが友米田航空兵准尉に捧ぐ 睛 遺功偲ぶ荒鷲の手記 の龜鑑

七

-

-

戦場に

薫る美

兵権尉の遺功を偲んで 池澤正雄上等兵、

終了せぬを遺憾として同僚 に後をわざわざ依頼して機 上の人となつたのである、 況が孤立を許さなくなる酒 後の日も離陸直前まで擔當

歳以上も居つて世話になり當准尉とは同じ下士官で半 伍 長 平林四郎

を 武 (三七)でこの打撲傷は 七日小双城堡から高栗稈を 着馬車に積み來京した際交 の 通事故を起し負傷したもの と判明、意氣込んだも東の と判明、意氣込んだも東の

て見れば擬裝犯人?

▽酷寒☆ を衝いて編

潜る三犯人を檢索

たし出れ荒

今年は急性肺炎が流行か

満鐵醫院内科の豫診

天秤棒で強打さ

個本の行動をとり捜査網を 潜つてゐるものと推定される があり活氣づいた捜査 保證のもとに前額部の打撲 保證のもとに前額部の打撲 保證のもとに前額部の打撲 保証のもとに前額部の打撲 に中興客店主につき厳重調 に中興客店主の親威に にか異などの にか異などの にか異などの にか異などの にかまる。 にがまる。 にかまる。 にがまる。 にかまる。 にかまる。 にがまる。 にがなる。 にがまる。 にがまる。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがな。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがな。 にがな。 にがな。 にがなる。 にがな。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがなる。 にがな。

視察團派遣 訪日鑛業

ないでも赤くなるやら 記は飽くまで厳正、酒の句 記は飽くまで厳正、酒の句

本面目な厳格で人で修は決 に一人で、氣質は非常に して死な政と何時も云つて 居られたので今でも職死さ たとは想はれません 上等兵 池里 でした、室にしない人 で到頃腰側の鬼となられて、三杯佚まされて手で、あの時が酒の飲み締

席などでは、忽ち辨優顔となる愛嬌があつて人気者で 近つてゐた、勇陽出動する や悪條件の下に高射砲弾を 目し優勢な酸駿嗣機と剛ひ にとに愛機が火焔に包まれ た中になほ喰ひ下る敵と最 た中になほ喰ひ下る敵と最 をまで剛ひ左手に銃を掘り なまで剛ひ左手に銃を掘り

Eに 庭面目で正直な當作財験 ました、整備になると今で従事しコッコッと働く がほかれました、自爆を打ち込むで行かれました、自爆を服を一個ないはれて朝食もほらずの 航空服を一個なにして飛り、正常の にないはれて朝食もほらず しました、自爆を服を一個ないがり、 はないはれて朝食もほらず からしました、 自爆を知るで行かれました、 自爆を知るである。

日間であった 日間であった 日間であった

首警に移る

ために首都警察廳に移すこ | 總監围村仙定氏が就任した新京支所を今回斯界發展の 一從つて支所長には新たに副留いてゐた武徽會滿州支部 | 事務一切の別繼ぎを了した

武德會支所

國防第一線へ演藝慰問隊 格の山田氏

四十七笑士の討入り

談會を開催する外各地で滿 名古屋で懇談舎、大阪で座 名古屋で懇談舎、大阪で座 開くことになってゐる。 員は左の知くである 本講洲鐵選理事長竹内態 支▲講業超選事長竹内態 支▲講業超選事長竹内態

## 設備ではなった。

廣

アシスに充分の趣向を備えたところに風雅を御吟味願ひたいと備は優雅な古典趣味に配し部屋とりごりの花月に因み近代人ので今般諸賢の待望に答へ移轉開業の運びとなりました、内容の時代の要求に應じまして壯麗豪華を誇る新築の完成を得ました ます、 何本倍舊の御愛願を御願ひ致しま

# 新京三笠町二丁

## 電話①二五〇七番

男女專利 、年齡男女共十八九歲迄 大經路三人 大經路三人 大經路三人 大經路三人 大經路三人

本電話次第迅速に御伺ひ致します衛生:水道の修理、大小に拘らず燃料節約の實際の御指導と機房、燃料節約の

₩場

東洋化學工業所

一、七、八、九年フォード二順、一順大・七、八、九年フォード二順、一順 自動車譲度し

科·明 徐 館 南

田田 目

本有型者は左配へ自筆度經書持要又主会十月に 本有型者は左配へ自筆度經書持要又主会十月に 本有型者は左配へ自筆度經書持要又主会十月に 一、固定給を支給す 一、固定給を支給す 一、固定給を支給す 一、個定給を支給す (噂叮速迅)

第一生命新京支部 電話③三三〇〇番へ ▼店員の補充採用を致して居ります▲ ただ今左の通り店員の補充採用を致して居ります 御希望のお方は御來店を願ひます、又お知合ひの

ば御紹介を願ひ度う存じます當方いつでも御面會方や御親類の方で當店に勤務を御志堂の方があれ 一、內地入

致します

女子十六歲以上—— 個々の經歷により決定 廿七歲迄

話② 五 0

女中さん數名入用 電近に拘らず迅速に御がけ致り 和京與安大路六一八號 通

首警の寒稽古

正道精神の銀練に接稽古を より三場の訓 元があって後 監、中央通書組本晩務科長

村井輔佐官熱涙の弔辭 滿難武道會

をに降る事際に被人を書へい 幹事村井輔佐官の譲継機に告別式を行信の譲継機に告別式を行信の譲継機に告別式を行

日午後九時四十五分着京の を題材に救筆のため震講の を題材に救筆のため震講の

いのもと社が原文部

たり曇ったり

千ちやんの朋友といふ機が あるのよ。 憚りさま。」

胡同

屈

倚凹勉强流品大安急

清 四代立

話が田田〇〇番

崎と黒田は、 と哲也の離が

を換自由」を換自由」 を換自由」 を換自由」 を換自由」

清水堂鍼灸院

▲中 照 ▲脚 編 本 中 照 ▲ 脚 編 オート・

釜,石 裝 板 號四九路經大京新 賽三六一二2 話體

特效學安心散特別あり御試薬を乞ふりのマチスを神経を

滿洲國總配給所

観町二ノ九(銀パレス前)

かか 大和運輸 安の準備有 銀産物 森安の準備有 と 大和 運輸 公司

三縣 白疆會

かどり茶園 お茶道具は 東二條通三九

人院隨時

電③ 老

新京大猫病院

今辨 慶整 母院 ざ

カメラ修理 乾寫真機

三友社

来自・諸人名の職業紹介

**管治タイプライタ**1 沼タイピスト





金





花柳病科

鰻か 鳥す 3

治し易い病気をなつた NO. THE RESERVE TO PARTY. The state of the s TO THE PARTY OF TH MAN TO THE REAL PROPERTY OF THE PARTY OF THE

ノだせ合仕は着恵病淋の日今



昨今甚しく時計類品薄の折柄 時多活用 出來る丈け御手許の時計を御活用下さ 必ず御滿足なさる様 時計を愛田



